



鴿の声

春爛漫の季節を迎えたとはいえ、天候は不順で桜前線が南から徐々に上がって来ないで、ランダムに開花しているようにさえ感じます。

さて、今年は、4月3日(月)に新社会人になられた方が多いのではないのでしょうか。昔の様に第一歩を踏み出した会社定年まで勤め上げるといふ終身雇用時代から、自分の価値観等と合わなければ転職して、新たな人生を歩み始める、それが普通の社会になってきているのではないかと思う時があります。ただ、個人で起業するのであればともかく、何らかの会社組織等に所属して多くの人と関わって生きて行くのであれば、いつの時代でも変わらない、大切に育まなければならないものがあると思います。雑誌に掲載された、昭和女子大学理事長・総長の坂東眞理子さんの記事に、

「気品のある子を育てる親の品格」というテーマで、ご自身の子育てや社会経験を通じて、親の願いや、親の役割について触れております。

共感する部分が多々ありましたので、自分なりに紹介させて頂きました。坂東さんは、親の役割として「大事なものは、釣った魚を子供に与えることではなく、魚の釣り方を教えることです。」この言葉に触れたのは今回が初めてではなく、過去にも作者不詳で接したことがあります。それは「人に魚を与えれば一日養える。人に魚の取り方を教えれば一生養える」というもので、坂東さんがどうかということではなく、このことは社会で生きて行く上でとても大切なことではないかと思えます。「いつも世話され、何でも与えられて育った子は、社会に出た時に必ず苦労します。それま

でに自分のことは自分で出来る生活習慣がある子を育てるのが親の責任です。挨拶や礼儀作法など、人間として最低限のコミュニケーションや、生きて行く生活力は家庭で親がきちんと身につけさせる。これは学校の役割ではありません。親には子に基本を伝える義務があります。(中略) 人生の目的は品格を磨くこと、生涯をかけて少しずつ成長させていくのが人生で、収入や肩書を得るのが人生の目的ではない。品格を磨くことが人生の大きな目標になります。」ということ、これは普遍的なものではないかと思えました。

最後に、新渡戸稲造の「D o i n g (行為業績) よりも、B e i n g (人格形成) のほうが大切だ」という言葉に重なるものがあると思えます。

(総合施設長 齊藤 操)

ときがね な ひととき

※法人内の事業所の日々の様子をお知らせします。

鴉嶺の家（高齢者・障害者）

3月です。春です。春は気持ちウキウキしますね。何か楽しい事がありそう！そんな気持ちになります。：が、これから暖かくなるはずの、3月のお彼岸が過ぎた27日に大雪が降り、ビックリ！本当に春は来るのだろうかと不安になりました。

鴉嶺の家では、お天気の良い日はお散歩に出掛けます。近くには、中央公園や八鶴湖があります。利用者の方も楽しみにしている八鶴湖の桜はこの雪でキュッと引き締まったよう

まだお預け状態、あともう少しのお楽しみです。

お散歩に行けない時など、お部屋の中で体操を行う事もあります。DVDを見ながら音楽にあわせて行います。「え？俺もやるの？」というような顔をされていたSさんは、DVDが始まると：つい体操してしまっています。女性のSさんは、曲目をご存知で、声に出して歌って下さり感動しました。女性のYさんお二人は、ノリノリで行って下さり、スタッフは、負けないように焦っております。これから暖かくなり、お散歩や体操など、体を動かせる機会が増やせば良いなあと考えております。楽しそうなことを探していききたいです。



鴉嶺の家（児童）

日に日に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。

ご卒業・ご入学・ご進級おめでとうございます。今年度も宜しくお願い致します。

子ども達は春休みを迎え、公園で毎日元気いっぱい遊んでいます。先月の出来事についてお話しします。3月3日はひな祭りがありました。女の子の成長を喜び願う日で、子ども達に知ってもらいたいと思い、今年度はパネルシアターを使って「うれしひなまつり」の曲に合わせて人形を飾りました。子ども達は大喜びで「もう一回見せて！」と盛り上がりました。おやつでは、ひなあられを食べてお祝いしました。

春から小学生になるRくん。Rくんは、普段周りのお友達の事を気遣うことが多くあります。ある日、ご飯の時にRくん

の隣に座っていたお友達が、嫌いな野菜をなかなか食べられずにいました。その様子を隣で見ていたRくんは小さな声で「もう少しだね。これ頑張ったら終わりだよ！」と優しく声を掛けていました。Rくんに励まされながら頑張るお友達。完食すると「すごいね！ピカピカになったね！」とお友達と喜ぶ姿が、とても輝いて見えました。その姿を見て、Rくんの思いやりの心が成長しているのを実感しました。日々成長していく子ども達。スタッフも子ども達に負けずに、今年度も頑張っていきたいです。



ぼけっと

庭の水仙や、ヒヤシンスが咲き、目にも鮮やかな季節になりました。

先日、地元の火正神社のお祭りがあり、今回地区の方々のご厚意により、初めて子供会の方と一緒に、山車を引かせて頂きました。見ているのと、参加するのは大違い！綱を引いていく速さに、「速！」と言いながらも最後まで真剣に引く子、所々参加する子、お囃子やお神輿の間近に見て「凄いいね！」と何度もスタッフに伝える子、みんなの後ろからゆっくと歩きお祭りの雰囲気味わう子、休憩所ではパンと飲み物を頂き、とても嬉しそうな子ども達でした。それぞれのスタイルで参加し、臨場感を肌で感じることで、貴重な体験をさせて頂きました。子供会の方からは「また次の時もどうぞ」と言ってもらい、楽しみな行事が増えました。



また、3月と言えば卒業…。今年は3人の子ども達も、ぼけっとを巣立って行きました。それぞれ小学生の時からご利用されていたので、アルバムを作りながら「こんな小さかったんだね。」「床屋さんの回転灯を毎日見に行ったね。」等々、みんなで色々な写真を見つけては手が止まり、その都度思い出話に花が咲いていました。じっくりと時間をかけて関わらせて頂き、私たちも沢山の事を学ばせて頂きました。この経験をもとに、次に続く子ども達の先を見据えた支援が出来るよう、努力して参ります。

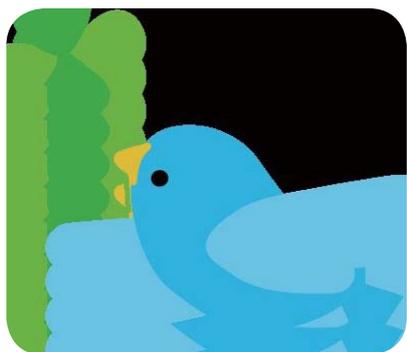
サポートセンタースピリッツ

春といえば出会いと別れの季節ですね。スピリッツでも手塚剛輝さんが3月末で退職いたしました。手塚さんは開設当初からヘルパーとして皆さんと関わらせて頂きました。

手塚さんと関わった方なら分かると思いますが、彼はとても誠実で人柄もよく、皆さんからも信頼されていたヘルパーでした。そのため、スピリッツとしてはとても痛手です。最近だと、人気芸能人が結婚したり、人気のあるドラマが終われば『○○ロス』という言葉が使われます。今まさに当法人は『テツロス』です。ご利用されている方にも『テツロス』の人がいるかもしれません。

また、「福祉・介護職不足」という言葉を皆さんも一度は耳にしたことがあるかもしれません。その余波は、スピリッツにも来ています。そのため、なか

なか希望の曜日や、時間にこたえにくいことも出てくるかもしれません。その際は、ご相談に乗って頂ければと思います。桜も咲き始め、新たな年度のスタートです。今年度も皆さんの暮らしの支援を陰ながら努めてまいりますのでよろしくお願ひします。



街かど福祉相談室るると

るるとは平成24年4月に立ち上がり、5年目を迎えました。平成27年度からサービス等利用計画書、もしくは障害児支援利用計画書が必須になりましたので、この頃急激に人数が増えました。さて、以前から関係機関と連携していきたく話をしてみました。おかげさまでたくさんさんの機関に知っていただき、又助けられることも多く、感謝しております。以前ある処理に悪戦苦闘していた時、ある方がすつと手を差し伸べてくれたことがありました。お礼を言ったら、「困った時はお互い様だから」という言葉が返ってきました。手伝っていたいただいた行為自体にも感謝ですが、何よりその言葉に心を打たれました。一緒にその方の気持ちまで受け取ることが出来ました。場合によっては傷ついたり、怒りを買うことにもなる言葉ですが、癒した

り、励ましたり、ほっとしたりと言葉一つで様々な気持ちになります。一度口から出てしまった言葉は訂正できません。だからこそ言葉を選んで話すよう心がけています。伝えたいことが多すぎてまとまらない、早口で伝わらない、言葉少なで伝わりにくい等、人によって気を付ける点は違いますが、大切なことは相手を思つて話をする事ではないでしょうか。

ありがとう



ハンドワーク（生活介護）

春の気配があちこちで感じられる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？

ハンドワーク生活介護では、春の牡丹雪もなんのその、身体を動かashiにお外へ出かけています^(^_^)

最近、3月末にバスと電車に乗って大綱までお出掛けをしました。大綱でお世話になっているお店へのご挨拶と、ハンドワークで作っている針箱や手作り小物を納品する事を目標に、13時から出発！いつもと違う景色や環境に嬉しそうな表情が多い1日でした。当日は天気にも恵まれ、風は未だに冷たいものの、日差しが暖かく、お散歩には最適な1日でした。

乗り物が好きなSさんは、電車の先頭で車掌さんの運転を見たり、どんどん流れていく景色を眺めながらニコニコとご機嫌な様子で、その反対側では暖か

な陽気にぐつすり寝入っているYさんがいたり、思い思いの時間を過ごしたひと時でした。バスの運転手さんや駅員さん等々多くの方に助けて頂きながら、目的地に到着。お店では、店員さんに温かく迎えて頂き、作った製品についてお話をしたり、お土産として購入していただきしていました。色々なお話をすることができ、とても励みになる1日でした。

これからも色々な体験を通して、多くの方に関われたらと思います。



ハンドワーク（就労継続支援B型）

3月、あたたかい日が増えてきたようです。ハンドワークの庭にも、春の訪れが感じられるようになりました。つくし、スイセンなどたくさん草花が咲き始めました。

3月5日（日）、東金青年の家ふれあい体験フェスティバルにてありさと合同で販売を行いました。当日は野外での販売だったため、とても寒く、保護者の方に頂いたホカロンを貼り、みんな口々に「さむい、さむい」と呟きながら接客を頑張りました。

会場の至る所で色々な体験コーナーが設営されていました。大縄跳び、手芸用紐を使った人形作りなど、見て楽しみ、参加して喜んでいました。昼食時には、たくさん軽食も販売されていた為、家から持参したお弁当の他に購入した鶏のからあげなどを平らげてしまった利

用者さんもいました。

東金青年の家のイベントでは周辺市町村在住の家族連れ、子ども達が主な来場者層との事でした。子ども達向けの雑貨やお菓子の詰め合わせを準備していきましたが、売り上げの方は思うようには行かず…。どのご家庭もお財布の紐が堅かったようです。ね。「次のイベントではたくさん売れるといいね」と利用者さんと話をしました。



ありさ（就労継続支援B型）

先日、防災訓練をしました。いつもの想定は、巨大な地震が起きた後、火災が発生したというもの。そのため、行う前にどんなことに注意したらいいか、どう行動するかを説明した後、今回は火災のみの想定で、みんなには内緒でドッキリをかけたました。

当日は、突然のお客様もあり計画通りうまくいかヒヤヒヤしながらも、何とか実行に移せました。お客様が帰られた直後に2階から職員が下りてきて「火事です!!避難してください!!」と慌てた様子で言い、それを聞いたメンバー達の行動はというと…。落ち着いた様子で机の下に隠れる人、動揺を隠せない様子の表情を見せる人、普段通り堂々としている人、そして張切る人がいました。「地震じゃないから、机の下から出

て!!逃げるよ!!」「煙吸わないように口を塞いで!!屈んで!!」と声を掛けるとみんな落ち着いて言われたとおりに行動をしていました。近くの空き地に着いてからネタばらしすると、途端に「なあくんだ〜」とあからさまにホッとしていました。

全体的に皆落ち着いて行動がとれていましたが、カバンを持ってきている人が一名：「悪い見本です」と皆で反省しました。



五根の家（グループホーム）

3月のお彼岸が過ぎ、大分寒さも和らいできました。3月は入院される方もなく、インフルエンザ等の感染症も一人も出ていないので、このまま春を迎えたいと思っています。

先日、天気も良く気温も暖かかったのでお年寄り数人で散歩に出掛けました。冬場は寒さの為、外に出る機会も少なく、久しぶりに外の暖かな風を感じて気持ち良さそうでした。帰りに近所のコンビニでおやつを買いに行きました。店内でスタツフがAさんに食べたい物を伺うと笑顔でポテトチップスを選んでいました。Nさんは「お金がない」と気にされていましたが、Nさんのお金はあるので心配ない事を伝えると安心され、スタツフに対して『いつもお世話になってますから、あなたにも買ってあげますよ』とチョコレートとを2枚選んで購入しまし

た。

五根の家に戻ってから留守番されていたお年寄りと共にみんなでおやつを食べました。お年寄り同士でおすそ分けされている方もいました。外出を通じて、室内で過ごしているだけでは見られないような姿を見る事が出来ました。

これから気候も段々と暖かくなるので、散歩の機会やお花見外出などで季節を感じる機会を増やしていきたいと思っています。



五根の家（小規模多機能ホーム）

先日、『東金市地域密着型サービス事業者連絡会』に参加しました。この連絡会は平成28年度（始まったもので、東金市内の地域密着型サービス事業所（グループホームや小規模多機能型居宅介護、認知症対応型デイサービス、小規模のデイサービスの4つのサービスで、東金市が指定を行っている事業所）のスタツフが定期的に定例会で集まって事業所間で情報交換を行ったり、介護職員向けの研修会や一般市民・学生に向けたセミナーの開催などを行っています。

定例会については、始めは管理者中心の参加でしたが、折角の情報交換なので現場スタツフも参加出来たらと考え、今回は現場の主任の参加でした。

今回の情報交換の話題は、『独居の方の訪問先で本人が不在（行方不明）だった時にどのよ

うな対応をしているか?』でした。どこの事業所も、まずはご家族に連絡をした上で探しに行くという事でした。携帯電話のGPS機能を使ったり、本人が行きそうな所を探しに行くという意見もありました。地域の中で本人の行動範囲を日頃から把握している事は、日常の支援において、ハプニングが起きた時についても大事だと思いました。

他には季節柄、感染症対策についても意見交換が行われました。一律に出ている意見はスタツフ自身が媒介しないように心掛けるという事でした。体力の低下されたお年寄りには、ちよつとした事でも感染する事が考えられるため、お年寄りの健康を守る立場として自分たちが菌を持ち込まないという姿勢が大事だと思いました。

今後も事業者間の横のつながりで様々な情報を得ながら、連携・協力してやっていきたいと思えます。

二 ころん

まだ桜のつぼみは固いけれど、新年度が始まりました。

昨年5月に開所したころんは、1年満たない間にたくさん仲間が出来ました。少しずつころんを知る人や機関が増え、気になる人を教えてくれるようになりました。少し個人的な人に合う仕事を考えてくれる企業、おおらかに受け止めてくれる農家さん、条件の悪い人にも部屋を貸してくれる不動産屋さん。無料で勉強を教えてください場所もあります。患者を心配して連絡をくれる病院のソーシャルワーカーさん。東金には素晴らしい人や企業がありました。機会を得て頑張れる人もいれば、続かない人もいます。問題を解決して終了でなく、安定した生活を維持することが大切なのですが、ずっと付き添っていることは困難です。昨年、前事業者から引き継いだ時、相談

している人は20名ほどでした。今は5倍近くなっています。もし新年度も継続するのならもつと民生委員さんの力、地域の力を借りたいと思っています。

山武圏域の生活困窮者自立相談支援事業者連絡会が発足し、山武・大網白里・横芝・九十九里・芝山・東金で協力しようと話し合っています。「今この会社でこんな求人があるよ！」等山武圏域全体で支援出来れば心強いです！



地域福祉情報・相談センターりんく

営業：午前10時～午後8時

場所：東金ショッピングセンター「サンピア」内1階

(ステーションコート脇)

内容：福祉、介護、子育て、ボランティア・市民活動

に関する情報提供、相談

★福祉・介護・子育て等に関する情報の掲示・配布をご希望の方は、当法人までご連絡ください。

(5333630)



法人事務局

《新人職員の紹介》

4月1日に3人の職員が入社しました。

何かと至らないところがあるかもしれませんが、何卒よろしくお願い致します。

● 鴉嶺の家 配属

宮澤 里奈



● 五根の家 配属

長嶋 詩織



●総務・企画課 配属
川島 悠季



企画・イベント情報

ヨガサロン

健康管理、仲間づくりにヨガを始めませんか？

旧道の岸本薬局の斜め向かいにある「ありさ」の2階で開催中。

開催日 5月3日(水)

5月17日(水)

※興味のある方はご連絡くだ

さい。

ありさ(50-0362)

お知らせ

平成29年5月1日より、鶴嶺の家の道路を挟んだ隣にあるアパートの一階(旧後藤整骨院)部分に「企業主導型保育事業」に基づく保育所を開設します。

名称のとおり、当法人に勤務する職員のための事業所内保育所ですが、提携契約を結んだ会社や事業所の保育所としても利用できると共に、地域で保育に困っている方も利用できます。

◆名称 まちの保育所いくりん

◆定員 12名

◆対象 0～5歳児

◆営業日 月～土(週6日)

◆休業日 日曜日、年末年始

◆時間 午前8時～午後7時

◆内容 通常保育・一時保育

※詳しくは、お問い合わせください。
さい。

(53-3630/太齋・並木)

まちの保育所 **いくりん**

安全な木質空間 安心の職員配置 優しい価格設定

子育て世代の福祉職・介護職を応援します！

少人数ならではのアットホームな雰囲気の中、お子様一人ひとりに寄り添った保育を行います。こだわりの木質空間で豊かな感性を育みませんか？

園児募集中

5月1日(月)開園！

〒千葉県東金市東金429アドバンスアベニュー1階

保育所は、無垢の木材をふんだんに使った空間に仕上がっています！

編集後記

新年度を迎え早半月が経ちました。今月は雨の影響でとても寒くなったり、真夏日を迎えたりと新年度から気温の変化も忙しいですね。皆さんは桜が見頃のうちにお花見に行けましたか？今年度も宜しくお願い致します。(W)

新年度最初の号なのに、皆さまへのお届けが大変遅くなってしまいました。本当に申し訳ありません。本年度も、しっかり発行してまいりますので、何卒宜しくお願いいたします(Jerry)



ちばしゃ通信 (Vol.30)

発行日：2017年4月15日
発行元：ちば地域生活支援舎
編集責任者：宮下・太齋
連絡先：0475-53-3630